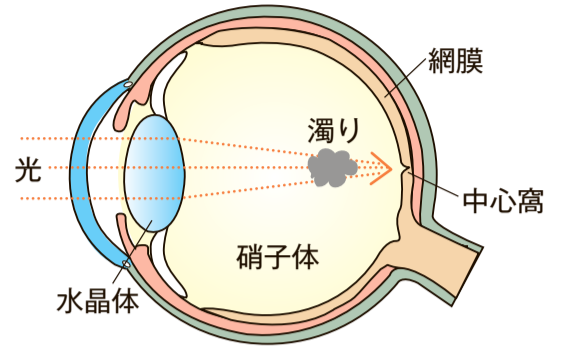


# 久里浜眼科 Vol.32 飛蚊症と網膜剥離について

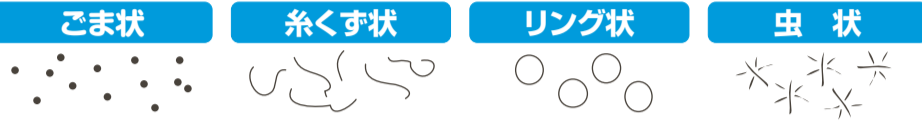
## 飛蚊症とは…

白い壁や青い空を見たときなどに、目の前に虫や糸くずのようなものが見ることがあります。目を動かすとそれも一緒に動いて見えます。蚊が飛んでいるように見えるので、これを飛蚊症といいます。明るい所ではその症状に気づきやすいのですが、暗い所ではあまり気になりません。眼球の中は、硝子体という透明なゼリー状の物質で満たされています。しかし、何らかの原因でこの硝子体に濁りが生じ、その影が網膜に映り虫や糸くずのように見えるのです。

〈眼球断面図〉



### いろいろな形に見える飛蚊症

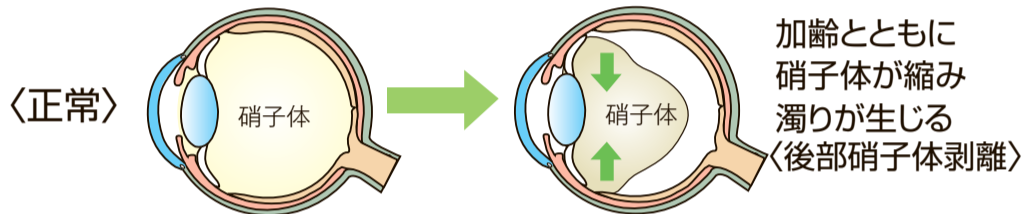


## 原因

生理的なものと病的なものがあります。

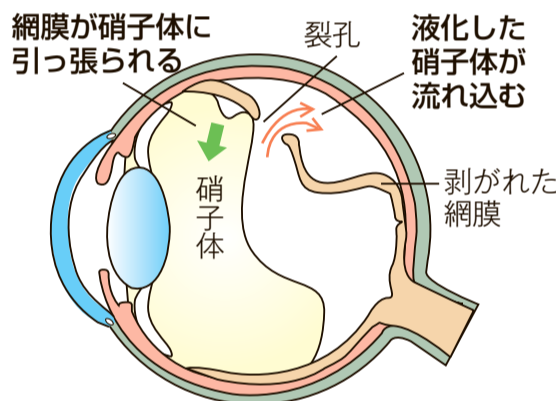
### ◆生理的…加齢によるもの

硝子体は年をとると、ゼリー状から液状に変化し縮んで、網膜から剥がれます。これを後部硝子体剥離といいます。このような変化によって起こった濁りが飛蚊症として自覚されるのです。強度近視の人は後部硝子体剥離を起こしやすく、年齢に関係なく飛蚊症は起こります。また後部硝子体剥離の有無にかかわらず年齢とともに硝子体は濁り、飛蚊症を自覚します。



## 網膜剥離とは…

そして、飛蚊症が起こる原因疾患として、最も重要で緊急性があるのが網膜剥離です。網膜剥離とは、強度近視や加齢に伴い硝子体が収縮して、網膜が引っ張られたり、網膜に小さい孔ができ、この孔から眼球内の水(液化した硝子体)が網膜の下に入り込んで網膜が剥がれてしまう病気です。



### ◆病的…

- ①糖尿病網膜症、網膜中心静脈閉塞症、緑内障など
- ②ぶどう膜炎(眼球の炎症) ③網膜裂孔、網膜剥離

## 治療

### ◆生理的な飛蚊症…

病気ではないので、治療の必要はありません。しかし、飛蚊症を自覚したら網膜裂孔や網膜剥離といった病的なものの可能性もあるため、眼科を受診した方がよいでしょう。

### ◆病的な飛蚊症…

原因となっている疾患の治療として、内服やレーザー治療、点眼薬治療、手術を行うことがあります。

<b>飛蚊症</b> 虫のようなものや、糸くずのようなものが見える 	<b>光視症</b> 眼の中で、稲光のようなものが見える 
<b>視野欠損</b> 見ようとする物の一部が欠けて見えない 	<b>視力低下</b> 物ははっきり見えなくなる 

**網膜剥離の症状**

## 検査

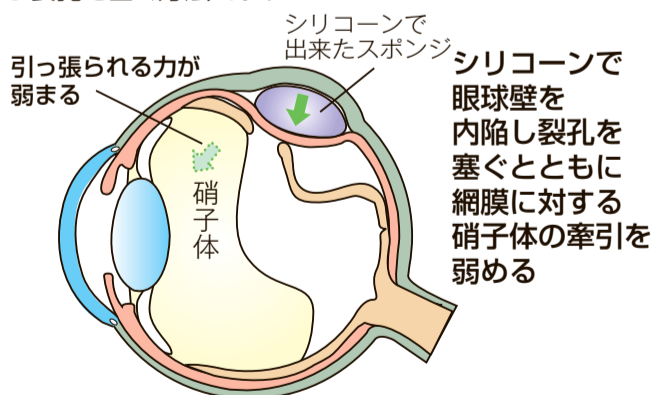
- ◆眼底検査 ◆OCT検査

## 治療

- ◆レーザー治療…網膜裂孔のみで網膜剥離がない、もしくは網膜剥離が局限している症例に対して行われます。
- ◆手術療法…強膜バックリング手術と硝子体手術があります。

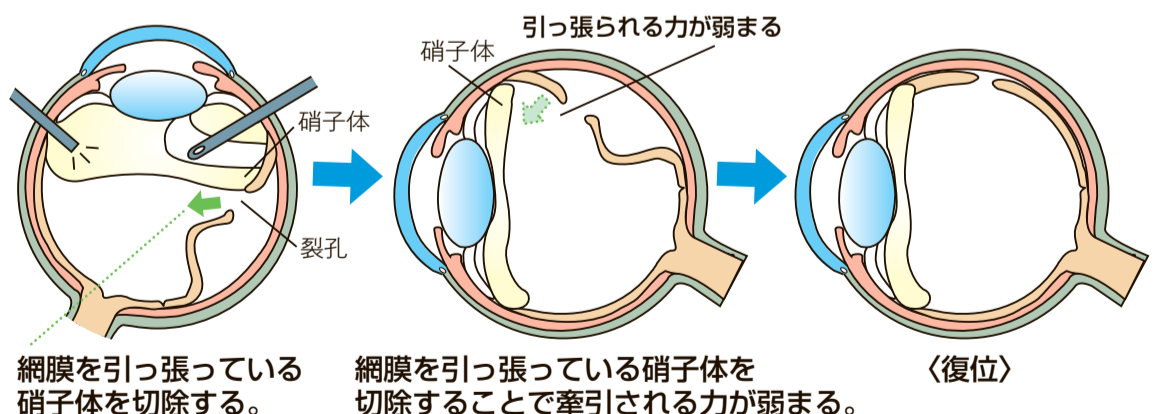
## 強膜バックリング手術

シリコンでできたスポンジなどのバックル材料を用いて内陥を作る方法が多く用いられています。眼球の外側から裂孔を塞ぐ方法です。



## 硝子体手術

硝子体を切除することで引っ張るものをなくし、レーザーなどで裂孔を塞ぎ、その後にガスを注入してそのガスで網膜裂孔を眼球壁に押し付けるようにして網膜を復位させる方法です。



# 久里浜眼科

☎046-833-0057

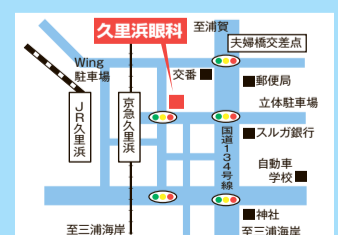
〈予約専用電話 ☎046-835-8602〉

[受付時間 午前9:00～午後6:15]

<http://www.kurihama-ganka.com/>  
横須賀市久里浜4-8-16(まんようクリニックビル)

■診療時間 ■休診日/日曜・祝日

		月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:15	●	●	●	●	●	9:00～11:45まで
午後	2:30～6:15	●	●	●	●	●	1:00～2:30まで



- 京急久里浜駅よりすぐ
- JR久里浜駅徒歩1分